

## 研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高TG血症合併NAFLD/NASHに対するペマフィブレート治療後のMRI-PDFPを用いた肝脂肪化および肝内鉄含有量改善効果の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

当院で高トリグリセリド（TG）血症合併非アルコール性脂肪性肝炎/脂肪肝（NAFLD/NASH）に対しペマフィブレート（PF）治療を開始し6か月が経過しており、治療前後にMRI検査（PDFP）をおこなった患者さんを対象としました。研究対象期間は、2020年1月1日から2022年7月31日です。

### 2. 研究目的・方法

脂肪肝患者さんの肝内の脂肪の程度や鉄沈着過剰の程度の評価にMRI-PDFPという検査が有用と近年報告されています。当院でも肝生検による組織診断と並行してMRI-PDFPを非侵襲的診断として脂肪肝患者さんの病状の把握に用いています。私たちは、これまで高トリグリセリド血症合併脂肪肝の患者さんに対してペマフィブレート治療（PF）が有効であることを報告しています。本研究ではペマフィブレートの治療評価を血液検査およびMRI-PDFPを用いて検討しています。

#### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2022年12月31日まで。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、薬剤使用量、MRI検査結果、血液検査結果、肝生検病理結果

試料：なし

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 氏名：野村 憲弘  
住所： 〒135-8577 東京都江東区豊洲5丁目1-38 電話番号：03-6204-6000（代表）  
研究責任者：野村 憲弘